

## 執行部の末席 として、伝統に 恥じない1年を。

副幹事長

辻岡 信也

Tsujioka Shinnya (65期)



平成31年度の友新会執行部副幹事長に就任いたしました、65期の辻岡信也と申します。事前準備の段階から執行部の責任の重さをひしひしと感じた次第でして、改めて身が引き締まる思いであります。

これまで新人として可愛がって頂き、ただ友新会の庭で自由に遊んでいただけの私が、就任して最も強く感じたことは、あらゆる面において友新会が大変確固たる団体なのだとということです。これは、友新会が長い歴史と諸先輩方の努力の上に成り立っていることであり、執行部の第一の役割はこの伝統に培われた友新会という組織の重みにさらなる1ページを加え、次代に引き継いで行くことなのだろうと感じています。それと同時に、変わりゆく社会に対応すべく、新たな試みを積極的に行っていくことも必要で、それこそが「友新会」の名が組織のあり方に求めるものであらうと思います。執行部の中で最も期の若い私が、伝統を守るなどと申し上げるのはおこがましいところですが、新しい試みを行うことは、むしろ若い期に期待されていることなのではないかと思えます。

執行部での1年間、この私がお役に立てるであろう事で、友新会に貢献していきたいと思えます。至らぬ点だらけですが、皆様よろしくお願い申し上げます。

さて、新執行部のメンバーはなんだか出来過ぎた構成でして、副幹事長全般、とにかく良く喋る。もともとほぼ全員ご縁のある仲であることに加え、このメンバーです。議案を揉む中で意味のある話、ない話、いろいろな話が渾然一体となってこねくり回される中で一応結論めいたものになり、これを岩井幹事長が格調高い結論に仕立て上げてくださる。すごいバランスだなと感じています。この楽しい執行部を1年間、目一杯楽しみます。